

2008年6月26日
東和メックス株式会社

東和メックス、LEDディスプレイで社会貢献の取り組みを開始

東和メックス株式会社(本社：東京都文京区、社長：村田三郎)は、主力として取り扱うLEDディスプレイの回収製品やデモ機などを、研究機関および農業関係者の方々に、貸与することを決定しました。

7月上旬より、当社ホームページにて貸与希望者の募集を開始します。

手始めとして、今月から、鳥取県八頭町の果樹園で行われる害虫防除の実証実験に、協力会社の株式会社T-テクノ(本社：大阪府大阪市、社長：宮本尚武)を通じて、6台の黄色LEDディスプレイを設置しました。

現在、黄色ランプによる害虫対策は実用化されていますが、消費電力量の大きさや高温であることが課題となっています。それらを解消するものとしてLEDが注目されていますが、高価であるため農業の現場で試用することは難しいのが現状です。

そこで、黄色LEDを使用した中古のLEDディスプレイを再利用して活用テストすることになりました。

LEDは、省電力、長寿命によるCO₂削減など地球に優しい表示や照明の素子で、これからのECO時代を象徴する素子として注目されているものです。

今後は、LEDディスプレイのリユース(再活用)をさらに広げ、環境負荷の低減に取り組んでいきたいと考えています。

貸与の条件としては、実験の目的内容、実施場所の明示、また実験結果の報告などが基本的な条件となります。

詳しい要件などにつきましては、当社ホームページ <http://www.towa-meccs.co.jp/> をご覧ください。

以上

この件に関するお問い合わせ先

一人と環境に優しい企業を目指す

東和メックス(株) 国内事業本部商品部 電話 03-3816-6791